



和やかムードでも心は熱く 新しい医療体系を実践する

内科医として20年の経験と実績を持ち、生まれ育った神戸で開業して3年。医師が天職という先生は、穏やかな中にも熱い想いを秘めていて「先生に診てほしい」と思わせる魅力があった。

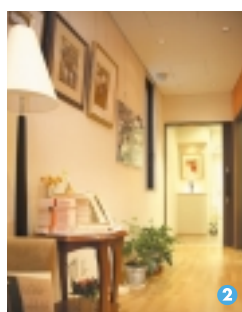
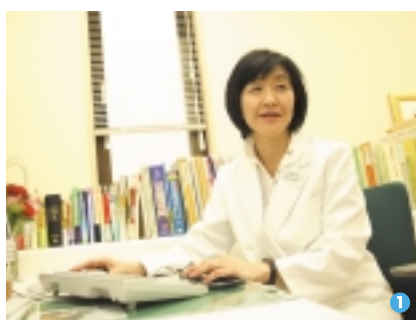
フラワーロード服部内科
院長・内科・循環器科・呼吸器科
服部かおる先生

profile
A型 牡牛座 神戸大学卒
神戸市出身

hospital data
神戸市中央区布引町3-1-7
神戸クリニックビル2F
TEL.078-222-5566
<http://www.hattori-naika.com>



④少しでもリラックスできるようにレジデンシャル（居住空間のような）な雰囲気がある院内は、BGMにはジャズが流れホッと落ち着ける空間



1.診療には電子カルテを導入
2.大好きだと言う熊谷守一氏の絵が飾られる院内 3.禁煙指導では意識付けとして喫煙の危険性を呼びかけるオリジナルCDの貸し出しも

優しさで情熱を合わせ持ち 統合医療で患者の幸福を願う

患者を中心とした健康や自然治癒力の向上を目標とする、新しい医療体系「統合医療」を実践する服部先生。生活習慣病の外来指導、栄養指導、禁煙指導や地域の医療との提携も、「お薬を処方するだけではなく、生活改善を勧めるなどトータルな診察を心がけています」と、その熱い信念に基づいて患者さんにとって痛みや危険、経済的負担が少ない医療を選択。「現代では生活習慣病など、患者さんにも治療チームの一員としてアクションを起こしてもらわなければ改善しにくい病気も増えましたから、患者さんとの相互の信頼関係を大切にしています」と穏やかな口

調で語る先生は、詳細な聞き取りを重視し、優しくアドバイスしてくれる。また「ここには病氣予備軍の若い方も多くいらっしゃいます。早く治療をすることで健康をとり戻すお手伝いができれば」と予防にも力を入れる。さらに「最近統合医療という言葉が独り歩きしている」と危惧し、今年を医院の統合医療元年として今まで以上に力を注ぐというから今後の活躍も目が離せないだろう。普段はさっぱりとした性格と言われることが多いという先生だが、「患者さんの幸福を願う医療を実現したい」と微笑む姿からは医療に関して熱い信念を持っていることが伝わってきて、頼りになる先生だと思わせてくれた。

病院での先生

- 医者を目指した理由
祖父が戦前から産婦人科の診療所を開いていて、医療の場は小さな頃から慣れ親しんだ環境でしたので、自然と医者の道を選んでいました
- 医者になってよかったこと
たくさんの方に触れて、関われること。それが内科医の使命であり、私のやりがいや大きな喜びとなっています
- 仕事の中で一番心がけていること
日々目の前にいる患者さんに集中して、よく見てよく話を聞くことです
- ストレス発散法は？
絵を見たり、音楽を聴いたり、おいしいものを食べる。特に絵は画家の熊谷守一の絵が好きです。音楽は、今はキース・ジャレットです